

令和5年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第3回議事録（要旨）

日 時：6月20日（火）午後6時15分～7時30分

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 12名

（中里委員長、小餅副委員長、高橋（淳）委員、内田委員、木川委員、
牛田委員、木岡委員、田村委員、北山委員、猿渡委員、横山委員、島津委員）

事務局：3名

1 開会

2 議題

（1）憲法月間記念行事のふり返り【資料1】

・事務局より、憲法月間記念行事のアンケート結果について説明。

【委 員】4回以上という方と70代以上の方が多い。大ホールに人を集められるくらいのイベントができればと思う。

【委 員】50代以上の方が多かったが、感想を見ると親子で参加した方もいた。子ども連れの方も参加できるイベント案を出していきたいと思う。

（2）夏季平和事業について（案）【資料2】

・事務局より、夏季平和事業実施案について説明。

【委 員】南北自由通路はなこみちで実施する平和パネル展の日程は、前回の実行委員会から変わらないか。連休の間であるが。

【事務局】前回から、資料にはこの日程を記載していた。こちらについては、職員で常駐するため、委員の役割等はない。

【副委員長】映画上映会の前に平和事業に関する説明があるが、登壇者の後ろにスクリーンで説明があると良いと思う。

【事務局】準備したい。

【委 員】映画上映会「この世界の片隅に」は、非核都市宣言平和事業実行委員会として2回目の上映となる。この作品は呉市での空襲が関係しているため、証言映像を映画の前後のどちらかで15分から20分ほどの映像を流すのはどうか。貸し出しを実施しているか把握していないが、しょうけい館戦傷病者史料館に200ほど映像があり、私は全て目を通しているため、推薦することができる。

【副委員長】映画に関する映像を流すといったご提案があったがどうか。上映時間は、126分であり長い作品となっている。

【委 員】しょうけい館戦傷病者史料館で語り部の活動をしており、来年以降、イベントとして語り部を呼ぶことがあれば活用できる。私も語り部をしている。また、「この世界の片隅に」の舞台である呉市に取材に行っており、作品に関連するノンフィクションの証言映像を活用できればと思う。

【副委員長】では、その映像を借りることができるか、確認していただければと思う。

- 【委員】その前に、映画の前後に映像を流すことについて、全体では是非をとる必要がある。
- 【委員】前回、映画上映会の構成について決めたと思う。呉市の映像には興味があるが、上映時間の長い作品であるため、さらに呉市の映像を流すことに事については検討する必要がある。
- 【委員】映画上映会としては、13 時 30 分から 16 時でご案内している。
- 【委員】時間については、再度検討すればよいと思うため、提案させていただいた。また、「この世界の片隅に」の上映は今回で 2 回目となる。上映以外にも何かする必要はあると思う。
- 【副委員長】2 回目ではあるが、やめる方もいるが見に来る方はいると思う。2 回目であることを心配しなくても良いと思う。
- 【委員】映画の内容は呉市が舞台となっているが、呉市にこだわる必要はないと思う。この作品を鑑賞するという機会が良いのではないかな。
- 【委員】「この世界の片隅に」は、フィクションであり、実際の映像を見ることは良いと思う。
- 【事務局】参考まで、「この世界の片隅に」の完全版はどうかとのご意見があったが、150 分を超える。今まで実施してきたイベントと比べ、映画会社からは、126 分の通常版をご提案いただいている。会場自体は終日おさえているため、やり方次第ではあるが、映画自体は以上の理由から、通常版を考えている。
- 【副委員長】前回の話のとおり、映画上映のみとし、証言映像は流さない方向でよろしいか。
- 賛同
- 【委員】呉市の映像については、委員の研修として活用はできる内容かと思う。
- 【副委員長】他に質問等あるか。
- 【委員】ちらしの配布は、どのようにするか。イメージを確認したい。
- 【事務局】広報については、市報 8 月 1 日号 1 面で掲載し、合わせてちらしの配布を予定している。ちらしについては、作成中であり、次回委員の皆さまにもお見せしたいと思う。
- 【委員】市報の前に、周知するのか。
- 【事務局】ちらしは、その前に配布する。
- 【委員】夏休みに入る前に、配布したい。
- 【事務局】学校に関しては、生徒が持っているタブレットにデータにて周知したいと思う。ちらしについても 7 月下旬から配布する。
- 【委員】憲法月間記念行事では、紙質の良いちらしを作成したが、夏季平和事業は、どのような用紙でちらしを作成するか。
- 【事務局】庁内印刷を予定している。
- 【委員】はなこみちで実施するパネル展については、要常駐とあるが、前年度と同様に時間帯を区切り、係を決めるのか。
- 【事務局】職員での常駐を考えているため、委員の皆さまには常駐していただくことなく構わない。10 時から 16 時で実施する。
- 【委員】武蔵野プレイスギャラリーでの展示は、開館時間の展示ということでよいか。
- 【事務局】そうである。今回は、武蔵野プレイスに常駐しなくてよいため、22 時まで

となる。市役所での展示は、土日祝日を除く開庁時間で、8時30分から17時となる。はなこみちでのパネル展については、委員のシフトは決めないが、スタッフも少ないため、応援に来ていただけると幸いである。

【委員】8月20日の音楽イベントの定員については検討中か。

【事務局】現在、検討中である。

(3) 平和の日イベントについて(案)【資料3-1、3-2】

・事務局より、平和の日イベント実施案について説明。

・委員より、追加提案いただいた講師の説明。

【委員】保坂さんは、最新三鷹市のイベントで講師をしていた。近い時期に近隣市で講演していたため、優先順位は下がるかと思う。

【副委員長】この人を呼びたいといったご意見等あるか。

【委員】前回の実行委員会で講師の候補を出した方から、ご説明いただきたい。

【委員】お客さんの年齢層としては高い傾向にある。前回、サヘルローズさんをお呼びした際、若い世代も来るかと思ったが、年配の方が多かった。安田さんについては、若い世代の方からも知名度がありふさわしいと思う。最近、戦争の話に寄っているが、人権や多様性についても問題提起してくれるのではないかと思う。

【委員】石岡さんについては、ホロコーストに関する研究をしている方で、日本とアジア関係で悩ましい部分もあるが、相対化するという意味でお呼びするのは良いと思う。

【委員】伊勢崎さんは、PKO活動をされている方である。また、トランペットとしても活動している。活動の拠点は吉祥寺であるため、お呼びするのは良いと思う。

【副委員長】推薦者にはご意見いただいたが、優先順位を決めることになると思う。どのように決めるか。

【委員】日程が決まっているため、来ていただけるかわからない。私は国境なき医師団を候補として出させていただいたが、講師の日程が合わなかった際に、国境なき医師団から講師を出していただくことはできるかと思う。武蔵野市に、こういった組織があることも知らない人が多いかと思う。

【委員】決定を先延ばしにしても講師のスケジュールが埋まり、苦しくなってしまう。1人複数の候補者に投票をして、投票数で順位を決めるのはどうか。

【副委員長】順番に名前をお呼びして、1人2回あげていくこととしたい。

投票の結果(優先順位)

1 安田 菜津紀さん

2 国境なき医師団

3 伊勢崎 賢治さん

【副委員長】では、以上の講師について、事務局の方でご確認いただきたい。また、平和の日について、パネル展や、戦争関連資料の展示、横断幕の掲出などについてご質問等あるか。

【委員】先ほど、事務局から紹介があった「南の島に眠る親友へ グラム帰還兵が描いた玉砕戦」の画集については、実行委員会で判断しパネル展で展示するの

か。武蔵野市とどのような関わりがあるか確認し、検討が必要かと思う。

【事務局】武蔵野市との関わりとしては、遺族会の関係者の方が武蔵野市民であることがあげられる。武蔵野市の平和の日事業を知っていただき、絵画としては160点あるが、以前展示をした際の額縁やキャプションもあるとのこと。

【委員】絵画集は、最近出版されたのか。

【事務局】4年ほど前に出版されたものである。

【委員】では、絵画を描いた方が武蔵野市と関わりがあるわけではないということか。

【事務局】この絵画を描いた方は、武蔵野市とゆかりがあるわけではないが、関係者の方の祖父がグアム帰還兵であった。また自費出版をした際の関係者に武蔵野市民の方がいた。

【委員】武蔵野市の戦争関連資料ではないということか。

【事務局】グアム島の資料となる。

【委員】今聞いただけでは決定できないため、検討するのに時間が必要かと思う。

【副委員長】平和事業までは時間があるため、リサーチできればと思う。

【委員】どのように活用したいか提案は受けているか。

【事務局】絵画であるため展覧会等での活用を想定しているが、相談したいと思う。

【委員】武蔵野市との関連が薄いかと思う。

【副委員長】「南の島に眠る親友へ グアム帰還兵が描いた玉砕戦」の画集については、事務局でもう少し詰めていただいてから、ご提案いただければと思う。

【委員】先日、武蔵野プレイスで、ウクライナ支援写真展を実施していた。趣旨や内容があっていれば、コラボレーションできるとよいと思う。

【事務局】ウクライナの写真展については、女性の奉仕活動を行っている国際ソロプチミスト武蔵野という団体の主催で実施された。武蔵野プレイスで展示したいという話を今年の1月にいただいた。ウクライナ支援のコンサートを実施したときのように、実行委員会と共催での開催も検討したが、国際ソロプチミストとして看板を出したいということで、市としては後援することとなった。

(4) その他

- ・戦争体験記録集第Ⅳ集の発行について説明。
- ・次回の委員会は、7月18日（火）午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会